

令和6年度 第2学期始業式 校長講話

本日から2学期が始まりますが、どのような夏休みを過ごしたのでしょうか。オリンピックがフランス・パリで開催されましたので、日本代表選手の活躍をテレビやネットで観戦したという人が多いと思います。

ところで、夏休み中に熱中症や交通事故等の報告を受けましたが、大きな事故にならなくて良かったと思っています。引き続き、熱中症や交通事故等には気を付けてください。

それでは始業の日に当たりまして、「防災に関すること」、「2学期に頑張っしてほしいこと」、「学校生活の心構え」の3つについてこれから話します。

まずは、「防災に関すること」です。

8月8日に日向灘沖を震源とした強い地震がありました。都城市では震度5強の揺れが観測され、日南市では震度6弱で一時、水道や電気等のライフラインにも影響がありました。日南市では国道220号線の落石であるとか、有名な観光地で地割れ等の被害を受けました。夏休みの観光シーズンにも関わらず、宮崎県内で観光業が影響を受けたところではあります。

今回の地震では「南海トラフ地震臨時情報」が出されました。すでに解除されましたけれども、巨大地震は「いつ発生してもおかしくない状況」であることを自覚しておかなければいけないと思います。

また、台風10号が接近中です。自然現象は人間の手でコントロールできません。地震と同様に、自分の命を自分で守る具体的な行動を実践することが必要です。

地震や台風以外にも、私たちの周囲には、落雷や今年の夏のような異常な高温など、命を脅かす自然現象があります。「命を落とすリスク」を減らすための最善の行動や準備は、各自の責任において行うべきことです。

それから皆さんは高校生ですので自分の命を守った後は、周囲の人を助ける役割を担うことになります。1月に発生した能登半島地震の際も、「地域を支えたい」という心で高校生が避難所運営で活躍する場面が伝えられました。

防災と併せて、「高校生が地域の中で果たさなければならない役割」についても考える機会にしてほしいと思います。

次に「2学期に頑張ってもらいたいこと」です。

3年生につきましては何と言っても、就職試験や上級学校の入学試験です。夏休み中には課外だけではなく、自宅での受験対策に時間をかけているはずですので、その成果を進路実現につなげてほしいと思います。

2学期は学校行事の多い学期です。2年生は修学旅行が控えています。11月にはアグリフェスティバル文化の部・体育の部、即売会が予定されています。

全校生徒が参加する行事につきましては、生徒会役員・農業クラブ役員が中心となって本校の伝統を引き継ぐとともに、さらにレベルアップした学校行事となるよう、生徒全員の協力をお願いします。

最後に2学期に限った話ではありませんが「学校生活の心構え」についてです。

校内でいじめがあったり、個人の持ち物やお金がなくなる学校は、被害を受けた生徒だけではなく、そのような話を聞いた生徒にも不安を与えます。

学習活動、資格取得、進路対策、部活動等に集中し、結果を残すための前提として、安心して過ごせる学校である必要があります。皆さんがそれぞれもっている思いやりの心にこれからも期待しています。

本日の話は以上です。2学期も頑張りましょう。

令和6年8月27日
宮崎県立都城農業高等学校
校長 山下 勉